

ロンドン、2017年1月17日

露のエブラズ社からニジニ・タギル製鉄所向け高炉用制御装置及び電気設備を受注

- プロセスオートメーションにより操業モード最適化とコークス消費量削減を実現
- 仮想シミュレーションを実行するオートメーションシステムによりサービスコストを削減

Primetals Technologies は、ロシアの鉄鋼メーカーであるエブラズ社からニジニ・タギル製鉄所（EVRAZ NTMK）向けに、新設される第7高炉用として、数百万ユーロに上るオートメーションシステム、電気設備、計測装置など一式を受注しました。新設の第7高炉は年間250万トンの銑鉄生産能力を有し、オーバーホール予定の第6高炉と入れ替えられる予定で、火入れは2017年末に予定されています。

今回の受注では、冗長性を持たせた複数の中央サーバーに、プロセスの仮想シミュレーションを行うオートメーションシステムとして、ベーシックオートメーション（レベル1）およびプロセス最適化システム（レベル2）を装備することで、現在のみならず特に将来のアップグレードにおいても劇的にサービスコストを削減できるようになります。また、投入されるプロセスオートメーションシステムは、コークス消費量の最適化も実現します。

エブラズ社のニジニ・タギル製鉄所は、ロシア中西部に位置するウラル連邦管区スベルドロフスク州ニジニ・タギル市にあり、粗鋼として490万トン、鉄鋼製品として420万トンの年間生産能力を誇るロシア最大規模の一貫製鉄所です。ニジニ・タギルはまた、製鉄および鋳業の中核拠点のひとつとしてロシアでも有数の歴史をもっており、主に鉄道用の車輪及びレール、構造用鋼、パイプ、半製品を生産しています。



ロシアのエブラズ社ニジニ・タギル製鉄所に新設される第7高炉の建設現場。

Primetals Technologies は新設の高炉向けにオートメーションシステムおよび電気設備を納入予定。（写真提供：エブラズ社ニジニ・タギル製鉄所）

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階

TEL(03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com